

事務事業名 肥育牛振興対策補助事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1015

施策：	05 農林業の振興	財務コード	01050105-03-00
基本事業：	05 畜産の振興	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	肥育牛飼育頭数 酪農牛飼養頭数 採卵養鶏数	担当課	農政課
		担当係	農政担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
JA 筑紫肥育牛部会		市内の肥育農家（3戸）で組織されたJA筑紫肥育牛部会の活動を支援するため補助金を交付する。 < 補助金交付の流れ > 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告 補助金410,000円（定額）				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		< 活動内容 > 削蹄、枝肉共励会、研修 等				
肥育農家が高品質な牛肉を安定して生産できる環境が整っている。		平成29年度に開催された、5年に一度開催の第11回全国和牛能力共進会に、福岡県から初めて出品されるにあたり、選考の結果福岡県代表2頭のうち1頭が本市の牧場から選出された。				

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
肥育した頭数（出荷頭数）	頭	263	209	263	280				337
削蹄頭数	頭	540	473	570	570				560
5. コスト									
事業費	計	千円	410	410	410	410			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	410	410	410	410				
正職員人工数	人工	0.1	0.1	0.1					
正職員人件費	千円	803	792	773					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	1,213	1,202	1,183	410				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	< 状況 > 出荷頭数及び削蹄頭数は減少した。 < 原因 > 子牛導入から出荷までの期間は約20箇月を要し、年により出荷数が増減するケースがあるため。 < 課題 > 生産経費の増大など、肥育農家の経営は厳しい状況下にある。上位等級の枝肉を生産するとともにトレイサビリティ確立が求められている。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	--	--	--	--	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
博多和牛ブランドの確立に向けた取り組みを県など関係機関と連携し強化する。									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
TPP11協定により、牛肉の輸入量は増大し、さらに厳しい状況におかれることが予想されるため、部会員及び関係機関との一層の連携が必要である。 インバウンドや感染症の影響により子牛導入が減ることが考えられ、数年出荷数が減る可能性がある。									